

## 「地域力連携拠点・事業承継支援センター」がスタート

情報化やグローバル化、農・商・工の複合的な相互乗り入れ等、昨今の中小零細事業所をめぐる経営課題は複雑化しており、従来の中小企業支援機関単体でサポートすることには限界があるといわれています。そこでは、それぞれの支援団体が強みを持ち寄り、事業者の視点に立ったコーディネートができる拠点の整備が不可欠とされてきました。

今般、沖縄県商工会連合会においては、石垣市商工会、宜野湾市商工会、名護市商工会とともに内閣府沖縄総合事務局から「地域力連携拠点・事業承継支援センター」事業を受託し、4つの拠点で全県を網羅した形で、小規模企業の支援体制をさらに強化することとなりました。

各拠点での業務内容は次の通り

### (1) 経営力の向上支援事業

- ① ITを活用した経営管理
- ② 見えない資産の把握・活用(知的資産経営)
- ③ 経営革新
- ④ 地域資源活用
- ⑤ 農商工等連携

### (2) 創業・再チャレンジ支援事業

### (3) 事業承継支援事業

従来、これらの支援事業は、都会地域に拠点がおかれることが多く、町村部や離島における展開が難しいとされがちでしたが、沖縄県商工会連合会においては、先島地域は石垣市商工会、北部地域は名護市商工会、中部地域は宜野湾市商工会、南部地域と周辺離島は沖縄県商工会連合会と地域毎の役割分担を図ることにより、より地域に密着したきめの細かい支援策の展開が行われることを目指しております。



「地域力連携拠点・事業承継支援センター」の除幕式

### <地域力連携拠点沖縄県商工会連合会グループ>

- ・ 地域力連携拠点 沖縄県商工会連合会 098-859-6150  
 応援コーディネーター 津波古 透
- ・ 地域力連携拠点 石垣市商工会 0980-82-2672  
 応援コーディネーター 石垣 守
- ・ 地域力連携拠点 宜野湾市商工会 098-897-0111  
 応援コーディネーター 野中正信、皆川洋平
- ・ 地域力連携拠点 名護市商工会 0980-52-4243  
 応援コーディネーター 川上菊子、下郡みず恵

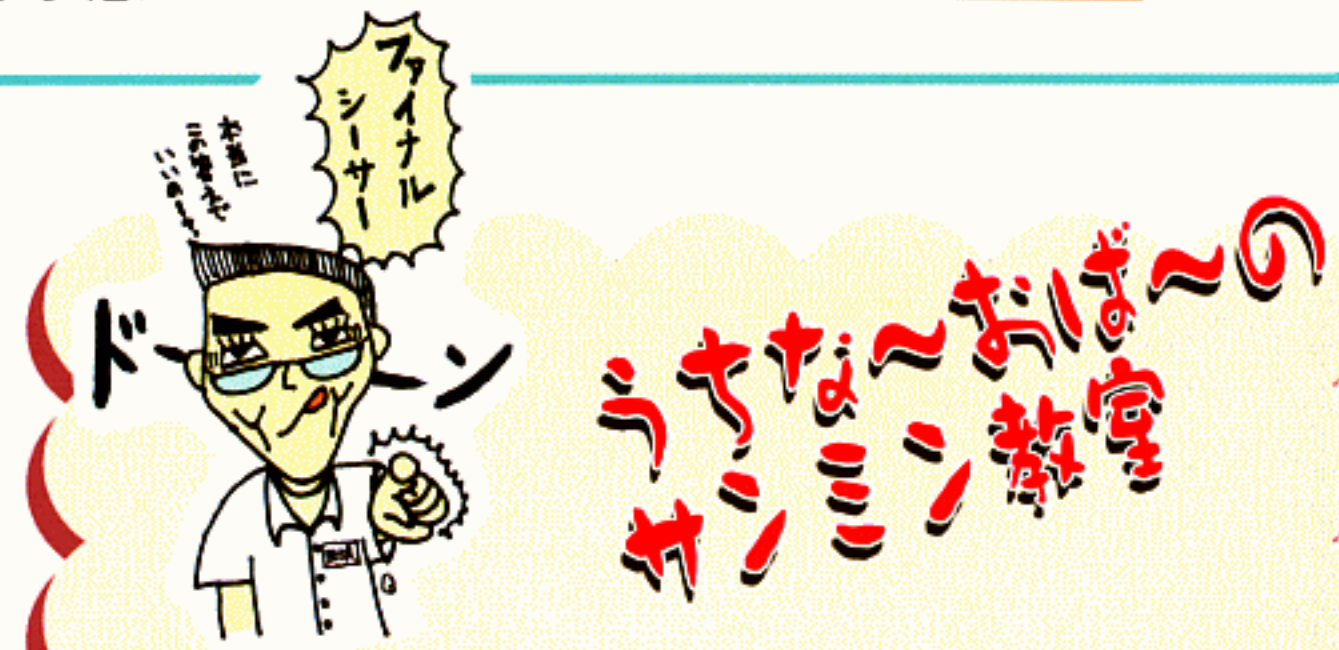


経営に  
役立つ訓言

## 漁夫の利

二者が互いに争っている間に、第三者が苦勞しないで、利益を横取りすること。

競合業者が新しい技術革新が起きているのに、既存事業のシェア争いに明け暮れ、そのうち既存事業が顧客のニーズに合わなくなり、最終的にいち早く技術革新に対応し、顧客ニーズをつかんだ新規参入企業に利益を奪われることにも例えられる。



糸満のウチナーかまぼこの今年の赤、白の売上本数はさ、前(め～ぬ)の年と比べると赤は、71本増えて、466本になり、白は7.5%減って444本になったわけよ。赤、白のかまぼこは昨年の売上本数より何パーセント増えたかね。

「誰か教えてちょうだいね。」

ヒント: 昨年の売上を求めましょう。

答えは、次号に掲載致します。